

はじめに

武蔵工業大学に勤務してから37年以上が過ぎてしまいました。退職が近づいたこの数年、これまでの資料などを整理しつつ、大学の様子、手がけてきた教育研究のことなどをまとめようと試みましたが、あまりにいろいろのことがあり、未完のままです。

この度、囲む会を催していただくことになり、皆様の話の種にでもなればと思い、それら資料などの一部をCDに納めました。2007年2月21日に行った最終講義のパワーポイントをPDF化したもの、その内容の一部を投稿した武蔵工業大学教育年報のコピー、最近の大学キャンパス、研究室の様子、通学路などの写真、所属研究室における卒業研究、修士論文、博士論文、研究論文等のタイトル一覧などを中心に、まとめたものです。ほとんどの写真や資料は自ら作成したのですが、一部大学の出版物や武蔵工業会誌「武蔵」などから転載させていただきました。

上記の研究活動には、この37年の間に研究室に在籍された1000名近い、学部、大学院修了の皆様、研究生、研究員の方々が携わられました。それらの論文ならびに概要もPDF化致しましたが、あまりに量が多く、本CDには集録してありません。ご希望の場合にはご連絡ください。また、これまでの整理が悪く、在籍された研究生、研究員の皆様についてはお名前を載せてありません。ご容赦ください。以上、まとまりのないもので恐縮ですが、ご笑納いただければ幸いです。

37年の間、材料力学研究室ならびに強度設計システム（旧機械設計）研究室で共に過ごした、吉野利男先生はじめ田村宏、堀越勝司、関根広司、坂本吉弘の先生方はすでに退職され、千葉和茂先生も今年度で定年退職のご予定です。両研究室は、現在機械システム工学科主任教授でもある大谷眞一教授ならびに機械工学科大塚年久教授の2先生を筆頭に秋田貢一先生、小林志好先生の皆さん、さらには次に続くであろう若手の皆さんへと、大きな世代交代の時期を迎えました。両研究室における益々の教育・研究の発展を期待しております。

大学は今後一層厳しい状況に見舞われると思いますが、武蔵工業大学を卒業された皆様、長年になんて武蔵工業大学ならびに両研究室に声援をお送りいただきました皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

最後になりましたが、皆様方の益々のご健勝をお祈りし、私からのお礼の言葉といたします。長いこと、お世話になり、本当に、ありがとうございました。

2008年1月吉日

萩原芳彦